

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

①知識・技能

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

②思考・判断・表現

音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

③主体的に学習に取り組む態度

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

- ・実技テスト、プリント（知識・技能）
- ・表現・創意工夫・鑑賞プリント（思考・判断・表現）
- ・授業への取り組み姿勢の観察、発表、自己評価カード・プリントなどの提出状況や内容（主体的に学習に取り組む態度）

特色ある学習方法

- ・音楽的感動の体験により、生涯にわたって音楽に親しみ、音楽を愛好する心情を持ち続けるようにする。そのために、生徒が主体的に活動できる場数を数多く設定すること、生徒の感性に訴えかける様々な素晴らしい音楽に触れさせる。
- ・創作の指導、授業形態の工夫、教材の選択、視聴覚機器の活用をしていきながら、幅広い音楽活動の経験をさせる。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	新しい仲間とともに歌で表現しよう「We'll Find The Way」「My Voice」「校歌」 鑑賞 音楽の表情を感じ取り、情景を想像しよう 「春（1楽章）」 アルトリコーダーのひびきを楽しもう 器楽「喜びの歌」 「聖者の行進」「オーラリー」	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習への意欲、態度を育てる。 ・ソネットをもとに、曲の雰囲気を感じ取って聴く能力を育てる。 ・リコーダーの基本的な奏法を学び積極的に練習する。 ・正しい運指を習得する。
二 学 期	曲にふさわしい表現を合唱で追求しよう 学級選抜曲 歌詞を理解し、表現を工夫する。日本の歌の魅力を味わおう「赤とんぼ」「浜辺の歌」 日本語の美しさを味わいながら歌う。 旋律のかかり合いを感じ取って歌おう 「君をのせて」旋律の重なり合いや、パートの役割を感じ取って表現を工夫する。 詩、歌、伴奏の結びつきをとらえよう 鑑賞「魔王」詩と音楽が一体となったおもしろさ、劇的効果を味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。・歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する。 ・旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って表現を工夫する能力を育てる。 ・旋律や形式などの働きによって生み出される曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴く能力を育てる。
三 学 期	日本古来の音楽や日本の民謡、アジアの諸民族の声や音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わったり歌ったりする、 鑑賞「アジアの諸民族の音楽」 「日本の民謡」「雅楽越天楽」 歌唱「ソーラン節」 箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 鑑賞 箏曲「六段の調」 日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう 「My Melody」 卒業式に向けて 国歌「君が代」「校歌」 全校合唱の豊かな響きを味わうとともに、心をこめて全校で歌い上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本古来の音楽や日本の民謡、アジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・日本の楽器の響きの魅力を味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。 ・箏の音色や響きと奏法との関わりを理解する。 ・音のつながりを生かした創作表現を工夫して音楽をつくる。 ・全校合唱の豊かな響きを味わわせるとともに、心を込めて全校で歌い上げることのすばらしさを体験させる。

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

①知識・技能

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

②思考・判断・表現

音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

③主体的に学習に取り組む態度

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

- ・実技テスト、プリント（知識・技能）
- ・表現・創意工夫・鑑賞プリント（思考・判断・表現）
- ・授業への取り組み姿勢の観察、発表、自己評価カード・プリントなどの提出状況や内容（主体的に学習に取り組む態度）

特色ある学習方法

- ・音楽的感動の体験により、生涯にわたって音楽に親しみ、音楽を愛好する心情を持ち続けるようにする。そのために、生徒が主体的に活動できる場면을数多く設定すること、生徒の感性に訴えかける様々な素晴らしい音楽に触れさせる。
- ・創作の指導、授業形態の工夫、教材の選択、視聴覚機器の活用をしていきながら、幅広い音楽活動の経験をさせる。

	学習すること	学習のねらい
一学期	<p>曲想を生かして、表現を工夫しよう 「夢の世界を」「翼をください」</p> <p>パートの役割を理解し曲想を生かして、アルトリコーダーを演奏しよう「ラヴァーズコンチェルト」「威風堂々」他</p> <p>曲想と音楽の構造との関わりを理解しよう</p> <p>鑑賞「フーガ ト短調」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫する。 ・旋律が重なり合っていくおもしろさを味わう。
二学期	<p>曲にふさわしい表現を合唱で追求しよう</p> <p>学級選抜曲</p> <p>歌詞を理解し表現を工夫する。表現曲想と歌詞の内容の関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう「夏の思い出」「荒城の月」「サンタルチア」</p> <p>曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう</p> <p>鑑賞「交響曲第5番ハ短調」</p> <p>曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう「夏の日の贈りもの」「Joyful, Joyful」</p> <p>オペラの名曲を味わおう</p> <p>鑑賞 オペラ「アイダ」より場面を想像しながら聴き、オペラの雰囲気を感じ取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、情景を思い浮かべながら、言葉を大切に、曲想を生かして表情豊かに歌う。 ・曲の構成を感じ取りながら曲全体を味わって聴く能力を育てる。 ・曲の構成を理解して、曲種に応じた歌唱表現を工夫する。 ・オペラに親しみ、その音楽の魅力味わう。
三学期	<p>歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう</p> <p>鑑賞「勅進帳」から</p> <p>歌唱 長唄「勅進帳」から</p> <p>楽器の特徴を生かして表現しよう</p> <p>器楽「カントリーロード」楽器の特徴を生かして即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫したりする。</p> <p>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 「ふるさと」</p> <p>卒業式に向けて</p> <p>国歌「君が代」「校歌」</p> <p>全校合唱の豊かな響きを味わうとともに、心をこめて全校で歌い上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴く能力を育てる。 ・楽器の特徴を生かした即興表現や、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現する能力を育てる。 ・全校合唱の豊かな響きを味わわせるとともに、心を込めて全校で歌い上げることのすばらしさを体験させる。

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- ①知識・技能
 - ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
 - ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
- ②思考・判断・表現
 - 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
- ③主体的に学習に取り組む態度
 - 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

- ・実技テスト、プリント（知識・技能）
- ・表現・創意工夫・鑑賞プリント（思考・判断・表現）
- ・授業への取り組み姿勢の観察、発表、自己評価カード・プリントなどの提出状況や内容（主体的に学習に取り組む態度）

特色ある学習方法

- ・音楽的感動の体験により、生涯にわたって音楽に親しみ、音楽を愛好する心情を持ち続けるようにする。そのために、生徒が主体的に活動できる場数を数多く設定すること、生徒の感性に訴えかける様々な素晴らしい音楽に触れさせる。
- ・創作の指導、授業形態の工夫、教材の選択、視聴覚機器の活用をしていきながら、幅広い音楽活動の経験をさせる。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	日本の歌の美しさを味わおう 心の歌「花」「花の街」 情景を思い浮かべながら、言葉 を大切に歌う。 音楽の特徴や背景を理解して、 その魅力を味わおう。 鑑賞「ブルタバ」「レクイエム」 曲にふさわしい表現を合唱で 追求しよう	・歌詞の内容や曲想から日本の 歌のもつ情緒を味わい、 情景を思い浮かべながら、 曲にふさわしい表現を工夫 する。 ・作曲者の思いを感じ取りな がら、音楽を味わう。 ・楽器の音色に親しみながら オーケストラの響きを味わ う。
二 学 期	学級選択曲 声部の役割を生かし、全体の 響きに調和させて合唱しよ う。 音楽の特徴や背景を理解し て、その魅力を味わおう。 鑑賞「展覧会の絵」 世界の諸民族の音楽やポピ ュラー音楽の特徴を理解して、 その魅力を味わおう 鑑賞「世界の諸民族の音楽」 ポピュラー音楽 曲種に応じた発声を生かし て、歌唱表現を工夫しよう。 「帰れソレントへ」 「Yesterday」 構成を生かしてリズムアン サンブルをつくろう。 「Let's Create!」	・合唱への参加を通して、い ろいろな合唱曲に取り組 み、表現力と合唱を愛好す る心情を育てる。・オーケ ストラの響きを味わう。 ・世界の諸民族の音楽の特 徴や背景をとらえる。 ・曲想を味わい、言葉の特 性を理解して、曲にふさわ しい表現を工夫する。 ・楽器の音色や音楽の様々 な構成要素を聴き取り、曲 を味わって聴く能力を育て る。 ・パートの役割や楽器の特 徴を理解し、全体の響きや構 成を考えながら音の組み合 わせ方や重ね方など、表現 を工夫してリズムアンサン ブルをつくる。
三 学 期	日本の歌の美しさを味わおう 心の歌「早春賦」 情景を思い浮かべながら、言 葉を大切に歌う 能の魅力を味わおう 日本の伝統的な歌唱、和楽器 の音色や響きの特徴を理解し て、魅力を味わおう 鑑賞 平調「越天楽」 能「羽衣」から 仲間とともに、表情豊かに合 唱しよう 国歌「君が代」「校歌」「旅立 ちの日に」、卒業生の歌、他 全校合唱の豊かな響きを味わ うとともに、心をこめて全校 で歌い上げる。	・日本の伝統音楽の魅力や郷 土の音楽のよさを味わい、 我が国の音楽に親しむ心 情を育てる。 ・言葉と旋律とのかかわりや パートの役割と全体の響き とのかかわりを理解し、表 現を工夫する。 ・全校合唱の豊かな響きを味 わわせるとともに、心を込 めて全校で歌い上げること のすばらしさを体験させ る。